

「落語の演じ方を考える」

～作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ～

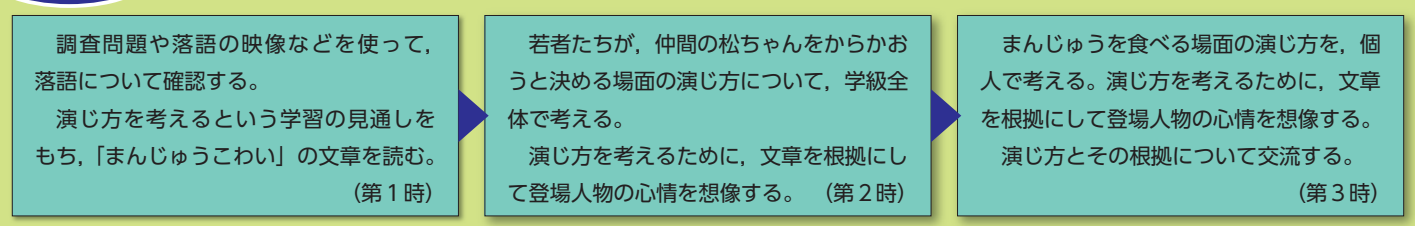
落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、落語の一場面の演じ方を考える学習を提案します。話の展開や場面の描写、せりふなどを根拠にして登場人物の心情を想像し、演じ方の工夫を考えます。この学習を通して、作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことを狙いとします。

| 課題の見られた問題の概要と結果 | |
|-----------------|---|
| B3 | 落語を味わう（「目黒のさんま」） |
| B3三 | 正答率 47.2% 落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く。 |

| 学習指導要領における領域・内容 |
|---------------------|
| (第1学年) B 書くこと ウ |
| (第2学年) C 読むこと エ |
| (第2学年) 伝国 (1) ア (ア) |

授業アイデア例

学習の流れ



(言語活動) 落語「まんじゅうこわい」の一場面の演じ方を考える。

- 教材例**
- 落語を味わう（「目黒のさんま」）（平成26年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B3）
 - 落語「まんじゅうこわい」

〔「まんじゅうこわい」の粗筋とせりふの一部〕

数人の若者が自分のこわいものを言い合っている。蛇だのクモだのと言い合う中で、松ちゃんは、「まんじゅうがこわい」と言い、話をしているだけで真っ青になり寝込んでしまう。そんな松ちゃんを、仲間たちはからかおうと話し合う。

A 「おい、みんな。ひとつあいつをおどかしてやろうじゃないか。おれは、前から松のやつが気にいらねえんだ。蛇がこわいのはおかしいなんて、えらそうに言いやがって。みんなでいろんなまんじゅうを買ってきて、あいつの枕元に山ほど積み上げて見せれば、あいつ、起きたとたんにこわがってひっくり返るぞ。」

まんじゅうを枕元に並べた仲間たちは、隣の部屋で様子をうかがう。起こされた松ちゃんは「まんじゅうこわい」と言いながら、まんじゅうを次々と平らげる。

B 「ああ、大変だあ。こわい、こわいよう。おれがこわいっていうまんじゅうを、こんなに枕元に並べやがって……。ああ、こわい、ああ、まんじゅう。ああ、そばまんじゅう……。うん、なるほど。うう、こわい、こわい(次々と口に入れながら)……。ああ、栗まんじゅう……。いいあんこだな。ああ、くずまんじゅう。みんな、甘くて……。うはは、こわい、こわい……。」

だまされたことに気付いた仲間が、「本当は何がこわいのか」と聞くと、「今度はおいしいお茶がこわい。」

第1時



落語の一場面の演じ方を考えることを通して、話の展開や登場人物の心情などについて深く考えてみましょう。

- 1 学習の見通しをもつ。
- 2 調査問題にある【落語を紹介する本の一部】や、落語「目黒のさんま」の映像などを使って、落語について確認する。
- 3 落語「まんじゅうこわい」の文章を読み、粗筋を確認する。「**B** まんじゅうを食べる場面」の演じ方を考えることを知らせる。

第2時

4 「A 若者たちが、仲間の松ちゃんをからかおうと決める場面」の演技方について、学級全体で考える。

演技方を考えるには、話の展開や場面の描写、せりふなどに着目して、登場人物の心情を想像することが大切です。

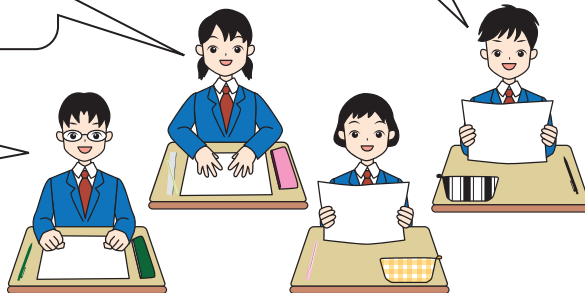
この場面のせりふから、どのような気持ちを感じられますか。



「おれは、前から松のやつが気に入らねえんだ。」と言っているから、相当、松ちゃんに対して怒りが積み重なっているのではないのでしょうか。

大きな声だと、松ちゃんに聞こえてしまうのではないかな。

大きな声と大きな身振りで、周りの仲間を巻き込むように演じると、その怒りの気持ちが伝わるのではないかな。



演技方のポイントは、右のようにまとめられそうですね。



演技方のポイントの例

- 声（大小、強弱、緩急）、話し方
- 表情
- 動作（体の向き、身振り手振り など）

第3時

5 「B まんじゅうを食べる場面」の演技方について個人で考える。

【考えをまとめたノートの例】



| | | |
|-----|------------------------------|---------------------------------|
| 演技方 | 声 | ・最初は小声、震えた声。 ・途中から声を大きく、笑い声。 |
| | 表情 動作 | ・困った顔。 ・背中を丸めて、食べている姿を隠すように。 |
| 気持ち | ・こわいという気持ち。 | |
| 根拠 | ・「ああ、大変なあ。こわい、こわいよう。」と言っている。 | |

6 演技方とそのように演じる気持ち、その根拠について交流し、他の人の意見も参考にしながらノートを書き直す。

【書き直したノート例】

松ちゃんは、本当にまんじゅうがこわいのかな。松ちゃんのせりふをよく読むと、仲間をだましていることが分かるよ。



だまして喜んでいるなら、演技方も変わってくるよね。

| | | |
|-----|---|--|
| 演技方 | 声 | ・最初は <small>小声</small> 、 震えた声 。大きな声で大げさに言う。 ・途中から <small>声を大きく</small> 、笑い声。 |
| | 表情 動作 | ・困った顔。「ああ、栗まんじゅう」のところから笑顔で。 ・背中を丸めて、食べている姿を隠すように。 |
| 気持ち | ・ こわいという気持ち 。 ・こわがっている振りをして、仲間をうまくだまして喜んでいる。 ・まんじゅうのおいしさに満足している。 | |
| 根拠 | ・ 「ああ、大変なあ。こわい、こわいよう。」と言っている 。 ・実際には、まんじゅうを次々と平らげている。 ・「こわい、こわい」と言っている間にも「うはは」と笑っている。 ・「うん、なるほど。」とまんじゅうを味わっている。 | |

7 落語「まんじゅうこわい」の映像を見て、自分が考えた演技方と比べて感想をもつ。

本授業アイデア例 活用のポイント

- 本単元の学習の流れは、文学的な文章を朗読する学習活動の際にも活用できる。